

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.80

【発行】千葉県テレビ伝道協力会

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2

CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」

TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072

E-mail: chiba@life-line.tv

ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>

郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台

2-1 OCCビル

TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650

E-mail: mail@pba-net.com

ホームページ <http://www.pba-net.com>

でんわ世の光 03-3291-9061

『 コラボしちゃう集会 』

市民クリスマス in 千葉実行委員 日本フルゴスペル教団 純福音成田教会牧師 妹尾光樹

今から20年ほど前、東京にある私の母教会に、ひとりの熟年の男性が、信徒さんに紹介され来られました。ちょうどクリスマスを控えたアドベントの日曜日、当時私は教職として駆け出しの頃でしたが、教会にはじめてきたその方がその時言った一言は今でも忘れることができません。『教会でもクリスマスをやるんですか?』

今や“クリスマス”ということばは、教会やクリスチャンだけのものではなく誰しもが知っています。しかしクリスチャン以外の人にとっての“クリスマス”とは商売をする時、恋人と過ごす時、ケーキを食べる日、サンタクロースがプレゼントをもって来る日であることは確かです。そんなクリスマスに意味はないと教会は“まことの礼拝”と呼ぶ信徒だけの集会をもって壁を作ってきたかも知れません。しかしクリスマスのように教会が世の中とリンクされ、共同歩調をとっているイベントはないのでしょうか? 今はコラボ(コラボレーション、共同作業、共同製作)の時代と言われています。企業も生き残りをかけて商品の提携販売や、合併を繰り返しています。教会はどうでしょうか?

来年日本はプロテスタント宣教150周年を迎えます。しかしその宣教の歩みは戦いの連続でした。その結果、教会の内と外、クリスチャンとノンクリスチャン、きよさと世俗のような対極的なふたつのものと教会は生きてきたように思えます。

2000年前この地に来て下さったイエス様は、神ご自身ですが、私たちと同じ弱い肉をもってこの世に来て下さいました。それは罪人と神様を結び合わせるため、この世と天国をつなぐためでした。ですから教会が世の中とコラボされない限り、イエス様が来られた意味はなくなり、クリスチャンがノンクリスチャンとコラボされない限り、イエス様の十字架も復活も虚しいものとなるといえます。日本人と外国人、男と女、大人と子供、既存のメンバーと新しいメンバー、教団教派、互いの違いを認めつつも、すべての障壁を越えてコラボすることをイエス様は願われているのではないのでしょうか? 『ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。』【新改訳改訂ガラ 3:28】

千葉県は神様に祝福されています。2008年現在、県内には300を超える教会があり、放送伝道番組「ライフ・ライン」を始め、教団教派を超えたコラボ、祈禱会や交わりも盛んです。歴史があり毎年500名近い人々が集う“市民クリスマス in 千葉”は、まさにコラボのオンパレードです。教派を超え、教職信徒を超え、世代を超え、国籍を超え、何よりもクリスチャンとノンクリスチャンがともに集う集会として祝福されています。今年2008年の“市民クリスマス in 千葉”は12月6日に行われますが、スピーカーにおゆみ野キリスト教会アイバーソン師、ゲストにミクタムの小坂忠師を迎え、クリスチャンとノンクリスチャンがともにイエス様のご誕生を祝い歌うクリスマスにと準備を進めています。ぜひこの集会にご賛同いただき、ともにコラボしませんか? とともに集い、ともに歌いましょう。どうぞ期待!

お茶の間に福音!

毎週土曜朝7時は、**千葉テレビ「ライフ・ライン」**でお楽しみ下さい。